

Stata によるパネルデータ分析入門

日時： 2019 年 3 月 4 日（月） 10:30～17:00

場所： 東京大学（本郷キャンパス）赤門総合研究棟 5 階・センター会議室（549 号室）

料金： 一般 5,000 円、学生 2,500 円

講師： 水落正明（南山大学）

定員： 25 名

■本コースの内容

統計ソフト Stata を用いて、パネルデータの初歩的な分析を体験します。パネルデータは一時点のクロスセクションデータと比べて豊富な情報量を持つ一方、データの扱いが難しくなっています。そこで最初に、パネルデータ特有のデータの構築・加工方法や記述的分析の方法を説明します。続いて固定効果モデル、変量効果モデルなど基本的なパネルデータ分析のモデルについて、一時点のクロスセクションデータ分析との違いを意識しながら解説します。とりわけ、経済学や社会学など社会科学における実証研究に役立つ技術のマスターに重点をおきます。また本コースでは、SSJ データアーカイブに寄託されているリアル・データを使った分析実習をします。

■次のような方におすすめです

- ・ パネルデータを扱ったことはないが、今後、分析してみたい
- ・ パネルデータを使った分析の利点を知りたい
- ・ Stata によるパネルデータの扱い方や分析方法を習得したい

■注意事項

- ・ 原則として、各自でノート PC（無線 LAN 機能付き）をご用意いただける方に受講を限らせていただきます。Stata のインストールが必要な方は、当日、10:00 までに会場にお越しください。
- ・ SSJ データアーカイブのデータを利用するため、大学または公的研究機関所属の研究者・学生（学部生も可）、SSJ データアーカイブへデータを寄託されている民間研究機関の方のみを対象とします。
- ・ 本コースは Stata の操作の基礎及び実践的な回帰分析の知識・技術の習得を目的としています。

■本コースの日程

「パネルデータの構築と加工」「パネルデータで記述分析」「パネルデータを生かした推定モデル」「推定モデルの選択」「質的従属変数の推定モデル」

*進度によって内容が若干変わることがあります